

授業科目名	上級TOEICセミナー I (Advanced TOEIC Seminar I)	担当教員	岩田 淳
開講年次・学期	医学科1-6年、看護学科1-4年	必修/選択	自由
開講形態	単位認定用科目	時間数/単位数	医学科20時間・看護学科0.5単位
学習目標			
<p>本科目は、TOEIC Listening & Reading Test 600点(日常生活のニーズを充足し限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができるレベル)のスコアを有する学生を対象に、申請により認定する科目です。</p> <p>*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。</p>			
ディプロマポリシーとの関連			
<p><医学科> 4. 医療人に必要なコミュニケーション能力を身につけ、患者やその家族と良好な人間関係を築くことができる。 12. 海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。</p> <p><看護学科> 1. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、人間、健康、社会・文化に対する深い理解と見識に基づいた看護を提供することができる。 6. 社会における保健・医療・福祉の充実と発展に貢献するために、広い国際的視野をもつことができる。</p>			
学修成果(到達目標)			
<p>(1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を聞き、その内容が理解できる。 (2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。 (3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。</p>			
キーワード			
英語コミュニケーションスキル、専門(医学・看護)英語			
授業の進め方			
TOEIC Listening & Reading Test (IP) の受験により、仕事で役立つ英語リスニング能力、英文法力、並びに英語読解能力の向上を目指す。数値的な目標としては、TOEIC Listening & Reading Test 600点以上の獲得を目指す。			
評価方法			
<p>本学入学後に受験したTOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEIC Listening & Reading Test IP (団体受験)のスコアが600点以上であれば、履修届とスコアシートを提出することで、本科目の単位を認定する。1年生は年2回(7月、2月)にTOEIC Listening & Reading Test IP試験を実施します。それ以外の学生は松江キャンパスで年5回(1,3,5,9,11月)TOEIC Listening & Reading Testを受験できます(要受験料:6,490円税込)</p>			
合否基準			
<p>教科書・参考書</p> <p>参考書: (1) TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編 (国際ビジネスコミュニケーション協会) (2) 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-6 (国際ビジネスコミュニケーション協会)</p>			
オフィスアワー			
<p>英語学習支援室eクリニック(講義棟2階)にて受験に関する助言や情報を提供します。また参考書、問題集が閲覧できます。 eクリニックオフィスアワー: 平日10:00-18:30</p>			

コア・カリとの関連

<医学科>

A-4-1) コミュニケーション

①コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。

②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

③患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。

A-7-2) 国際医療への貢献

①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。

②地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。

③保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。

④日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。

⑤医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。

<看護学科>

A-4-1) コミュニケーションと支援における相互の関係性

①看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを理解できる。

②人々との相互関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について説明できる。

③自分の傾向がわかり、自分の課題を意識しながらコミュニケーションをとることができる。

A-7-3) 国際社会・多様な文化における看護職の役割

①国際社会における保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。

②多様な文化背景をもつ人々の生活の支援に必要な能力を理解できる。

③国際社会における健康課題と戦略を理解し、今後の看護職に求められる役割や責任について考察できる。